

大雪山

アール・オー・エス

ROS管理目標 イメージ図



原生
区域

自然
区域

準自然
区域

準整備
区域

整備
区域

原生体験・静けさ・孤独

安全・快適・便利

環境

自然らしさ



人との
出会い



施設

登山道
(高山帯)



登山道
(森林帯)



渡 渉



木道
(湿地帯)



ベンチ
テーブル



キャンプ地



山小屋



トイレ



水 場



管理

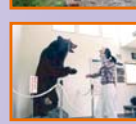
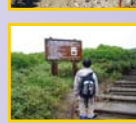
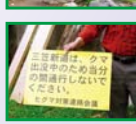
標 識



規制と誘導



ヒグマ
との遭遇



ROS管理目標は、3つの要素(縦方向)と5つの区域(横方向)からなっています。3つの要素とは環境・施設・管理からなり、利用者の多様なレクリエーション体験に影響を与えると考えられるものです。一方、5つの区域とは、原生・自然・準自然・準整備・整備の各区域であり、レクリエーションの場を示しています。この図では原生区域にむかうほど、原生体験・静けさ・孤独といった要素が重視されます。逆に整

備区域にむかうほど、安全・快適・便利といった要素が重視されます。この図を管理目標として、管理者は規制計画や施設計画を策定することができますし、利用者は自分の好みにあったレクリエーションの場を選択することができます。それによって、大雪山で多様なレクリエーション体験を確保することができるのです。